

令和7年飯田市議会第1回定例会 一般質問通告表

令和7年3月4日、5日

No.	氏名	項目・要旨
1	小平 彰 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 飯田市の大規模事業について (1) リニア駅周辺整備事業の計画について ① リニア開業予定が2034年以降となったが、駅周辺整備事業のスケジュールをどのように考えるか (2) 新文化会館建設事業について ① 取組と現状は ② 鼎文化センターの今後は (3) 観光施設に関する整備事業について ① しらびそ高原周辺の整備は ② そらさんぽ天龍峡周辺の整備は 2 飯田市の歳入を増やすためには (1) 歳入を増やす要素をどのように考えるか ① 賃上げによる所得増で歳入はどのくらい増えるか ② 飯田市の企業数は ア 事業承継の状況は イ 事業承継対策・起業施策をどう考えるか ③ 飯田市の歳入を増やす施策は ア 広告掲載はどのようなものがあるか、その実績は イ 歳入を得る施策は
2	古川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	1 市の教育について (1) 飯田学園構想について ① 児童生徒数の減少や施設の老朽化への対応として、学校の適正な規模や学校施設の考え方を整理し、配置等「優先的に検討すべき学園」などを第2次方針に示すとある。市民から統廃合を懸念する声を聞くがどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古 川 仁 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>② 学園を立ち上げていくにあたっては「先生の負担が増える可能性がある」とあるが、どのようなことが想定されるか</p> <p>(2) 児童生徒の学力と不登校について</p> <p>① 市民から、児童生徒の学力が低下していると聞か が、実態はどうか</p> <p>② 実態から見える課題は</p> <p>③ 近年、不登校の児童生徒が増えてきているが現状は どうか</p> <p>④ 授業に遅れがちな児童生徒が不登校につながると考 えるがどうか</p> <p>⑤ 授業に遅れがちな児童生徒への対応は</p>
3	岡 田 倫 英 (会派きぼう) 【 50 分 】	<p>1 地方創生の取組について</p> <p>(1) 地方創生に対応した10年間、人口減少抑止にどう取 り組んできたか</p> <p>① 地方創生に係る交付金の主な施策と活用状況は</p> <p>② 地方創生においては行政と地域の一体感が不足して いたとの課題認識もあるが、市の取組はどうだった か</p> <p>(2) 後期計画期間での考え方は</p> <p>① 交流人口・関係人口を一層重視する考えはどうか</p> <p>2 回帰率向上に結びつくシビックプライドの醸成について</p> <p>(1) 10代のシビックプライド醸成に向けた取組は</p> <p>① 県外へ出る若者が「飯田はこのような地域だ」と紹 介できるキーワードは整理、浸透しているか</p> <p>② 菱田春草など郷土が輩出した偉人の顕彰もシビック プライド醸成に寄与すると考えるがどうか</p> <p>③ 中学生と地域の関わりは</p> <p>ア 飯田学園構想における「みらい創造科」を活用 していく考えは</p> <p>イ 公民館をつなぎ役として地域活動へ呼び込む取 組を強化してはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡 田 倫 英 (会派きぼう) 【 50 分 】	(2) 各地区の人口1%戦略を10代との関わりから組み立てていく考え方はどうか 3 道路陥没への対応について (1) 埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没事故を受けて国土交通省が全国の自治体に緊急点検を要請したと聞くが、どう対応するか (2) コンクリートの耐用年数は100年と言われるが、市内の下水道で最も早く整備した管は75年を過ぎている。あと20数年で更生完了の見通しは (3) 暗渠となっている雨水排水路の点検・対策は
4	福 澤 克 憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 国の地方財政計画、長期財政見通し等から見た飯田市予算の考え方について (1) 国の地方財政計画、国の補正予算から見た飯田市予算の考え方は (2) 大規模事業の見通し（リニア関連事業、新文化会館建設事業等）からの長期財政見通しの修正の考え方は (3) 財政運営目標の指標となっている実質公債費比率（令和6・7年度（単年度））、ピーク年度の見込みは (4) 今後の方向性は 2 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて (1) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて ① 国の認定・県の認証制度の市内事業者の取得状況は ② 認定・認証を受けた事業者を支援する市独自の制度資金、利子補給の活用状況は ③ 県の認証制度「社員子育て応援宣言」と連携した取組は考えられないか ④ 事業所訪問や実践型セミナー、個別相談、複数の事業所が合同して行う女性のキャリア教育等の取組状況は (2) 飯田市役所（事業主）としての取組と現状について ① 職員のストレスチェックの状況は ② 療養休暇（心の病）の状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福澤 克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	③ 人員確保の考え方は ④ 今後の方向性は
5	宮脇 邦彦 (公明党) 【 40 分 】	1 環境文化都市を加速させるために必要な視点について (1) サーキュラーエコノミー（循環経済）への転換をどう進めるか ① サーキュラーエコノミーについての認識は ② サーキュラーエコノミーについて、市民の理解をどう得ていくか ③ いいだ未来デザイン2028後期計画の「基本目標4：自然と共に歩む豊かな循環社会をつくる」でいう資源循環への働きかけとは、具体的にどのようなことを指すか ④ エシカル消費の具体的な理解度向上への取組は ⑤ 水平リサイクルの取組をどう捉えているか ア 「21’ いいだ環境プラン第6次改訂版」にあるペットボトルの水平リサイクル実施をどう進めるか ⑥ サーキュラーエコノミーへの転換について、市長の見解は 2 G I G Aスクール構想の下で整備された学習用端末の更新について (1) 端末の更新における課題認識について ① 端末更新に対する教育長の認識は ② 現状把握及び今後の対応について ア 市内小中学校の更新に該当する端末数は イ 更新端末の適正な調達は ウ 旧端末の処理（処分）は ③ 適正な端末処分とデータ消去到どう取り組むか
6	佐々木 博子 (会派みらい) 【 40 分 】	1 新しいまちの土壌づくりについて (1) 地域とともにつくる飯田学園構想について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木 博子 (会派みらい) 【 40 分 】	① 飯田学園構想とは何か ② 今までと何がどう違うか ③ 学園構想によって何を実現しようとしているか (2) 飯田市のインバウンド施策について ① 市におけるインバウンド客の現状は ② 市ではどのようなインバウンド事業推進の取組をしているか ③ 市民発のインバウンド事業に対して、今後どのように関わっていくか ④ インバウンド施策の推進に当たり地域住民への理解促進、機運醸成をどのように考えているか (3) 共に歩み寄り合う共生のまちづくりについて ① 合理的配慮の提供の義務化について周知の現状は ② 事業所向けのガイドラインやマナーブックの必要性は ③ 合理的配慮の提供を推進するためのコーディネーターの設置は
7	長谷部 春生 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 飯田市が環境文化都市としてさらに輝くための取組について (1) 環境文化都市・飯田が市民生活へ浸透するための取組は (2) 生活用品のリサイクル率を向上させるための取組は 2 世界から注目を集める飯田市になるための観光振興について (1) 国内観光の現状について ① 国内観光客の受入状況は ② サイクルツーリズムへの取組状況は (2) インバウンド観光の現状について ① インバウンド観光の受入状況は ② 観光受入体制の整備に向けた取組は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	長谷部春生 (会派きぼう) 【 40 分 】	3 リニア中央新幹線の整備や信州大学の誘致の状況を踏まえた、市としてのアリーナ整備への課題について (1) 令和4年以降の状況変化を踏まえた、現状の課題の認識は
8	市瀬芳明 (日本共産党) 【 30 分 】	1 福祉の視点から、住みやすいまちや住みたいまちづくりについて (1) 住宅セーフティネット制度の対象者と支援内容は ① 賃貸住宅を確保しやすくするための公的支援にはどのようなものがあるか ② 住宅確保要配慮者として、どのような支援を受けられるか (2) 空き家の活用と住宅セーフティネット制度の関係は ① 空き家を高齢者向け住宅として活用するための支援制度は ② 住宅セーフティネット制度を活用して、空き家を高齢者向け賃貸住宅にする際の条件や補助金は (3) 高齢者入居拒否問題と住宅セーフティネット制度の対応は ① 高齢者が賃貸住宅入居を拒否されるケースに対して、住宅セーフティネット制度にはどのような対策があるか ② 家賃保証制度や支援策は (4) 福祉サービスと住宅セーフティネット制度の連携は ① 住宅セーフティネット制度を利用することで、福祉サービスとの連携を強化できる仕組みは (5) 市における農福連携の考えは ① 農福連携とはどのようなことか ② 事業者として取り組んでいる事例はあるか ③ 今後、市は農福連携の展開をどう考えるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
9	永 井 一 英 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 公営住宅入居に際しての連帯保証人について</p> <p>(1) 県営住宅、市営住宅それぞれの既入居者の世帯構成状況と推移は</p> <p>(2) 市営住宅における連帯保証人の取扱いは。また、令和2年4月に施行された改正民法への対応は</p> <p>(3) 令和3年第4回定例会において、市営住宅における連帯保証人の保証内容について答弁しているが、連帯保証人を不要としたときの課題は</p> <p>(4) 長野県が、令和5年1月以降に県営住宅へ入居する人に対して、連帯保証人を不要としたことについて</p> <p>① 県の考え方は。また市の認識は</p> <p>② 市が連帯保証人を不要としたときの課題への対応など、公営住宅入居者について、福祉的対応がますます必要になってきていると考えるが市の認識は</p> <p>2 地域課題に対応するための事業体の立ち上げについて</p> <p>(1) 今までの市の取組を踏まえて、現状と課題、今後の方向性は</p> <p>(2) 労働者協同組合法を活用したワーカーズコープについて</p> <p>① 視察した「はんしんワーカーズコープ」は、自分たちの事業領域を「地域の困りごと×仕事おこし」としている。労働者協同組合法第1条（法の目的）からしても、地域活性化など可能性を秘めた仕組みと思うが、市はどう考えるか</p> <p>② 尼崎市は、高齢者の介護予防、フレイル対策を目的に、生きがい就労を提供して社会参加を進める「高齢者生きがい就労事業」を「はんしんワーカーズコープ」に業務委託している。市はこの取組をどう考えるか</p> <p>③ ワーカーズコープは、雇用の確保や協同組合を起業するという側面がある。産業経済部はどう考えるか</p> <p>④ 飯田市内で、地域課題の解決に取り組むワーカーズコープを起業しようとするとき、どのように進めたらよいと考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
10	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	<p>1 観光による地域振興について</p> <p>(1) DMO（日本版観光地域づくり法人）の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① DMOの必要性和在り方は ② 株式会社南信州観光公社と市内にある観光協会の立ち位置をどのように考えているか ③ 遠山郷の地域性を考慮すると、将来DMOと成り得るような組織が必要ではないか ④ DM（観光地マネジメント）の役割に運営や活動資金の確保がある。協力金制度の導入が必要ではないか ⑤ 今後の支援の在り方は <p>2 道路網整備について</p> <p>(1) 主な道路改良について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 三遠南信自動車道現道改良区間国道152号県境部の小嵐バイパス及び水窪奥領家区間の進捗状況と見通しは ② 現道区間は、河川と山腹に挟まれた構造となっている。護岸の安全確認を市としても行っているか ③ 未改良区間の市道上村4号蛇洞林道及び国道152号地蔵峠ルートと県道251号（喬木村氏乗から小川間）の現状と今後の対応は <p>(2) 一日も早く整備されるために地域住民としてできることは</p> <p>(3) 市の要望活動への取組と考えは</p>
11	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>1 リニア駅前広場活用の考え方とこれからのについて</p> <p>(1) 市の取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田・リニア駅前広場プラットフォームの目的は ② どのような団体が参加しているか ③ 市民の参加状況は ④ これまでの取組をベースとしてこれからの議論をどう進めていくか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	<p>(2) リニア駅前広場と市内20地区との連携は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道の駅との考え方から、その場で完結させない仕組みの構築が必要と考えるがどうか ② リニア開業の際の「いざなう」との視点は、開業前でも視野に入れる必要があると考えるがどうか ③ DMOの考え方をもとに20地区の財産を改めて確認し、いざなえる準備が必要と考えるがどうか ④ 20地区、そして伊那谷全体を巻き込んだ「いざなう」視点や滞在時間の増加を見越した周遊観光の仕組み作りが今から必要と考えるがどうか <p>(3) 若者や女性が活躍できる場としてのリニア駅前広場の活用の考えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若者や女性の活躍の場としてリニア駅前広場の活用は視野に入っているか ② 創発の場であるムトスぷらざとの連携の考えは ③ エス・バードとの距離的な有利性（アドバンテージ）を活用する考えは ④ 農村起業家育成スクール修了生との連携の考えは
12	関 島 百 合 (会 派 み ら い) 【 40 分 】	<p>1 人材育成について</p> <p>(1) 女性の公民館主事が増えている現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域でどのような変化があるか ② 女性を主事に配置することで何を期待するか <p>(2) 現場感覚を持った職員の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 課題を認識し、解決していく職員の育成が必要と考えるがどうか ② どのような育成をしているか <p>2 地域力を生かしたシードルについて</p> <p>(1) 地元産のシードルをどう生かすか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市としてシードルをどう認識しているか ② 生産者へのサポートは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	関 島 百 合 (会派みらい) 【 40 分 】	③ 地元への浸透にどう取り組むか ④ 広域でのPRに市としてどう関わるか ⑤ ツーリズムへの生かし方は 3 中心市街地について (1) 中心市街地の重要性をどう捉えているか (2) 活性化に向けた取組で成果は何か (3) 旧飯田市公民館とプール跡地の後利用の方向性は (4) 新文化会館は中心市街地との連携が重要だと考えるがどうか
13	木 下 徳 康 (新政いいだ) 【 50 分 】	1 「飯田市20地区応援隊」について (1) 20地区応援隊（ふるさと納税）の目的と仕組みは (2) これまで7年間の実績とその評価は (3) 目的は地区活性化にあると考えるがどうか (4) 集会所、公民館等の改築などに活用できるか 2 通報アプリについて (1) アプリの目的とその利用方法は (2) まちづくり委員会を通じた地区要望との関係性はどうか (3) 公開後の活用状況は (4) その評価は (5) 八潮市の道路陥没の事案から、身近なリスクを把握しておくことが安全安心につながると考えるがどうか ① 市のすべきことは ② 市民にできることは 3 「いいだ未来デザイン2028」について (1) 「2028年の人口ビジョン92,000人」の目指すところは「2050年日本一住みたいまち」か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
14	山 崎 昌 伸 (新政いいだ) 【 50 分 】	<p>1 安心、安全のまちづくりについて</p> <p>(1) 住宅の耐震改修促進の状況は</p> <p>① 能登半島地震を受けて耐震改修の促進に向けて新たに取り組んだことは</p> <p>② 長野県は耐震化率の目標を2030年に100%としているがどう対応するか</p> <p>(2) 災害発生時の安否確認の在り方とSNSの活用について地区ごとの現状は把握されているか</p> <p>① 災害発生時の安否確認の在り方について地域自治組織と行政それぞれの役割は何か</p> <p>② 地域自治組織が担う役割について各地区の理解は進んでいるか</p> <p>③ 安否確認も含めたSNSの活用について各地区の状況は把握されているか</p> <p>2 市民が誇りを持てる環境文化都市の実現に向けて</p> <p>(1) 環境分野におけるシビックプライドの醸成をいかに進めるか</p> <p>① 環境教育は効果的に行われているか</p> <p>② 「環境文化都市実現大会（仮称）」開催についての取組の状況は</p> <p>③ 「気候市民会議」開催への検討は進んでいるか</p> <p>④ 市民が環境文化都市に暮らしていることを実感できるのはどのようなときと考えるか</p> <p>(2) 「日本一住みたいまち」となる環境文化都市の実現に向けた市長の決意は</p>
15	原 和 世 (会派みらい) 【 40 分 】	<p>1 新年度予算編成の基本的な考え方に関して</p> <p>(1) 市長2期目のスタート年に当たって今期を展望する上で新年度予算をどのように位置付けているか</p> <p>① 予算編成の基本方針と「いいだ未来デザイン2028」後期4年間への展望は</p> <p>② 重点的に配分される分野や事業への思いは</p> <p>(2) 財政の健全性と持続可能性について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 和 世 (会派みらい) 【 40 分 】	① 財政の健全性に関する「いいだ未来デザイン2028」後期4年間における財政見通しは（実質単年度収支・経常収支比率・基金の推移など） ② 予算編成における不要・不急な事業の整理・見直しは ③ 市民にも財政状況を分かりやすく伝えるための工夫は 2 教育課題について (1) これからの学校のあり方に関して ① これからの学校のあり方について市長の思いは
16	清 水 勇 (会派きぼう) 【 50 分 】	1 飯田市農振除外について (1) 令和6年度の農振除外の状況は ① 農振除外の申出数とその状況は ア 申出後の県の対応は ② 農振除外の申出の手続について ア 受付の状況は イ 除外の申出の1年間の締切回数と締切日は (2) 農振除外決定後の手続について ① 家屋を建てるために必要な手続は ア 農地転用は ② 他の市町村に比べて市は農振除外の決定、農地転用の許可に期間を要すると思うがどうか ア 農振除外決定までの期間短縮の検討は イ 農振除外の申出に係る手続の説明はどのような方法で行っているか 2 道の駅遠山郷について (1) 温泉施設の開業時期は ① 進捗状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清 水 勇 (会派きぼう) 【 50 分 】	(2) 地域の関わり方は (3) 道の駅に対する市の取組状況は (4) 道の駅として市の考え方は 3 天龍峡観光施設について (1) 整備状況は ① 龍角峯付近の遊歩道の整備状況は ② 他の遊歩道の管理状況は ③ 遊歩道の安全対策について木製の安全柵の管理状況は ④ 天龍峡中央駐車場トイレは多くの人が集中して使用する と流れが悪くなるが、改修の考えは
17	井 坪 隆 (会派みらい) 【 20 分 】	1 リニア中央新幹線長野県駅（仮称）とまちづくりについて (1) 「飯田」を冠した、リニア中央新幹線の駅名の実現を目指す べきではないか (2) リニア駅（交流重心）と中心拠点（都市重心）とのまち づくりについて、どう考え取り組むか